

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小林茂人	血管炎症候群	高久史麿、北村惣一郎、猿田亨男、福井次矢	家庭の医学大全科	法研	東京	2004	2902
小林茂人	ANCA関連血管炎 血管炎症候群	高久史麿、北村惣一郎、猿田亨男、福井次矢	家庭の医学大全科	法研	東京	2004	2903
小林茂人	高安動脈炎	高久史麿、北村惣一郎、猿田亨男、福井次矢	家庭の医学大全科	法研	東京	2004	2903
小林茂人	結節性動脈周囲炎	高久史麿、北村惣一郎、猿田亨男、福井次矢	家庭の医学大全科	法研	東京	2004	2903
小林茂人	ウェゲナー肉芽腫症	高久史麿、北村惣一郎、猿田亨男、福井次矢	家庭の医学大全科	法研	東京	2004	
小林茂人	HLA-B27 関連脊椎関節疾患	小池隆夫、住田孝之		診断と治療社	東京	2004	112-125
縄田益之、小林茂人	ウェゲナー肉芽腫性症	三森経世	リウマチ・膠原病診療チェックリスト	文光堂	東京	2004	224-227
小林茂人、藤井猛士、池田 真	腸炎に伴う関節炎	越智隆弘、菊池臣一	New Mook 整形外科 リウマチ類縁疾患	金原出版	東京	2004	116-124
田村直人、小林茂人	感染性腸疾患後の反応性関節炎	越智隆弘、菊池臣一	New Mook 整形外科 リウマチ類縁疾患	金原出版	東京	2004	116-124
小林茂人	リウマチ専門医試験	日本リウマチ学会 編集		メジカルビュー社	東京	2003	
小林茂人	リウマチ入門	日本リウマチ学会日本語版編集	第12版(日本語版)			2003	
小林茂人	強直性脊椎炎	下条文武、齋藤 康 監修	ダイナミックメディシン	西村書店	新潟市	2003	19-126-127
小林茂人	乾癬性関節炎	下条文武、齋藤 康 監修	ダイナミックメディシン	西村書店	新潟市	2003	19-128
小林茂人	Reiter 症候群(反応性関節炎)	下条文武、齋藤 康 監修	ダイナミックメディシン	西村書店	新潟市	2003	19-129-130
秋元智博、小林茂人、橋本博史	再発性多発軟骨炎	北村論、福地義之助、石井芳樹 編集	医学のあゆみ state of arts 2003-2005 呼吸器疾患	医歯薬出版	東京	2003	693-696

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
小林茂人、 浅川順一、 田中光彦。	強直性脊椎 炎、反応性関 節炎および分 類不能脊椎関 節症	福井次矢、 黒川 清 日本語監修	ハリソン内科学、15 版	メディカ ル・サイ エンス・ インター ナシヨナ ル	東京	2003	1995-2001
小林茂人	好酸球性筋膜 炎。	山口 徹、 北原光夫 総編集	今日の治療指針	医学書院	東京	2003	553
川野照長、 小林茂人	乾癬性関節 炎、結晶誘発 性関節炎	黒川 清、 松澤佑次 編集	内科学	文光堂	東京	2003	2216
小林茂人	多発性関節炎 と浮腫を主訴 に来院した76 歳の女性、専 門医を目指す ケース・メソ ッド・アプロ ーチ	橋本博史 編	膠原病・リウマチ	日本医事 新報社	東京	2002	1-17
堀美智子、 大沢秀人、 国重敦子 (執筆協力 :小林茂人、 川野照長、 田中光彦 他)		堀美智子 監修	医薬品相互作用ハ ンドブック 改訂 2版	じほう	東京	2002	
小林茂人、 田村直人	HLA-B27 関連 脊椎関節炎	住田孝之編	Expert 膠原病・リ ウマチ	診断と治 療社	東京	2002	346-357
小林茂人	強直性脊椎炎	住田孝之編	Essence 膠原病・ リウマチ	診断と治 療社	東京	2002	96-97
小林茂人	Reiter 症候群ま たは反応性関 節炎	住田孝之編	Essence 膠原病・ リウマチ	診断と治 療社	東京	2002	98-99
小林茂人	乾癬性関節炎	住田孝之編	Essence 膠原病・ リウマチ	診断と治 療社	東京	2002	100-101
小林茂人	慢性炎症性腸 疾患に伴う関 節炎	住田孝之編	Essence 膠原病・ リウマチ	診断と治 療社	東京	2002	102-103
小林茂人	血清反応陰性 脊椎関節症の 概念	日本リウマ チ財団教育 研修委員会 編	リウマチ基本テキ スト			2002	355-359
小林茂人	ライター症候 群(反応性関節 炎)	日本リウマ チ財団教育 研修委員会 編	リウマチ基本テキ スト			2002	364-367
津坂憲政	聴力障害・め まい	三森経世	リウマチ・膠原病 診療チェックリス ト	文光堂	東京	2004	50-53

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
津坂憲政、 竹内勤	分子生物学から みた炎症	浅香正博	21世紀の胃の 炎症学	メジカルレ ビュー社	東京	2004	209- 217
湯村和子	ループス腎炎	飯野靖彦、 槇野博史	腎疾患・透析最 新の治療 2005- 2007	南江堂	東京	2004	115- 120
湯村和子	シクロホスファ ミドパルス療法	浦 信行、 柏原直樹、 熊谷祐生	腎臓ナビゲータ ー	メディカル ビュー社	東京	2004	234- 235
湯村和子	全身性エリテマ トーデスの腎障 害	2003年度版	今日の治療指針	医学書院	東京	2003	407- 409
湯村和子	ループス腎炎一 腎不全への阻止 のために	浅野 泰、 小山哲夫	腎疾患-State of Arts	医歯薬出版	東京	2003	328- 331
湯村和子	自己免疫疾患	伊藤克己 監修	小児急性血液浄 化療法マニュアル	医学図書出 版	東京	2003	175- 179
湯村和子	膠原病、血管炎 を含む腎血管腎 障害	松澤佑次、 黒川 清 主幹編集	内科学 第2版	文光堂	東京	2002	1529- 1538
湯村和子	全身性エリテマ トーデスの腎病 変と臨床/ステ ロイド薬/免疫 抑制薬	長澤俊彦、 二瓶 宏、 湯村和子	膠原病・血管炎 の腎障害	東京医学社	東京	2002	112- 130 235- 245 246- 253
湯村和子	Immunotactoid glomerulopathy / Fibrillary glomerulonephr itis	下条文武、 内山 望、 富野康日己	専門医のための 腎臓病学	医学書院	東京	2002	342- 348
湯村和子	免疫血清 免疫 グロブリン	黒川 清監修 深川雅史、 山田 明、 秋澤忠男、 鈴木正司 編集	透析患者の検査 値の読み方	日本メディ カルセンタ ー	東京	2002	206- 208
湯村和子	アミロイドーシ ス	亀山正邦、 高久史磨 総編集	今日の診断指針 第5版	医学書院	東京	2002	1151- 1154
吉田俊治	肺高血圧症	狩野庄吾、 中川武正	アレルギー・リ ウマチ・膠原病 の最新医療	先端医療技 術研究所	東京	2003	377- 381
加藤賢一、 田口博章、 吉田俊治	免疫抑制薬	狩野庄吾、 中川武正	アレルギー・リ ウマチ・膠原病 の最新医療	先端医療技 術研究所	東京	2003	403- 408
吉田俊治	再発性多発軟骨 炎	日本リウマチ 財団	リウマチ基本テ キスト	日本リウマ チ財団	東京	2002	459- 462
吉田雅治	半月体形成腎炎	木村健二郎、 富野康日己	講義録 腎臓学	MEDICAL VIEW	東京	2004	190- 195

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
吉田雅治	腎血管炎.	杉本恒明 小俣政男 水野美邦	内科学 8 版	朝倉書店	東京	2003	1448-1451
吉田雅治	ウェゲナー肉芽腫症.	山口徹 北原光夫	2003 今日の治療指針	医学書院	東京	2003	558-559
吉田雅治	PN、Wegener 肉芽腫症を伴う腎病変.	浅野泰 小山哲夫	医学のあゆみ 腎疾患 state of arts2003-2005	医歯薬出版	東京	2003	332-335
吉田雅治	抗 GBM 抗体腎炎. 血漿交換療法	黒川清 吉村吾志夫	腎疾患治療のエビデンス	文光堂	東京	2003	108-111
吉田雅治	川崎病、アレルギー性肉芽腫性血管炎、Wegener 肉芽腫症、過敏性血管炎.	島田 馨 監修	内科学書 改訂第 6 版	中山書店	東京	2002	955-999
吉田雅治	Wegener 肉芽腫症.	二瓶宏 湯村和子 長澤俊彦	膠原病・血管炎の腎臓障害 Up to Date	東京医学社	東京	2002	194-202
吉田雅治	ANCA 関連腎症の治療法.	御手洗哲也 秋葉隆	腎臓病-専門医に聞く最新の臨床	中外医学社	東京	2002	74-75
吉田雅治	抗糸球体基底膜抗体腎炎の治療.	御手洗哲也 秋葉隆	腎臓病-専門医に聞く最新の臨床-	中外医学社	東京	2002	76-77
吉田雅治	Goodpasture 症候群と抗基底膜抗体病.	長澤俊彦、 二瓶宏、 湯村和子	膠原病・血管炎の腎臓障害 Up to Date	東京医学社	東京	2002	203-210
山田秀裕、 尾崎承一	血管炎症候群	小池隆夫・ 住田孝之	GUIDELINE 膠原病・リウマチ	診断と治療社	東京	2005	70-87
山前正臣、山田秀裕	間質性肺炎	三森経世	リウマチ・膠原病診療チェックリスト	文光堂	東京	2004	67-71
宮本正章	自然免疫を応用した先端医療	マイケル・ザスロフ	自然免疫	Innate immunity 研究会	東京都	2004	121-132
森下竜一、 浅原孝之	血管新生を使いこなすには?	重松宏	脈管学	日本脈管学会事務局	東京	2004	129
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	血管新生療法	狩野庄吾	日本内科学会雑誌	社団法人日本内科学会	東京	2004	327-333
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	遺伝子を利用した血管新生療法	浅田祐士郎、 江頭健輔、 甲斐久史、 古森公浩、 佐田政隆、 室原豊明	心臓ナビゲーター	株式会社メディカルレビュー社	大阪・東京	2004	252-253

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二	遺伝子治療による血管新生療法	一戸裕子	実験医学	株式会社羊土社	東京	2004	155-159
橋弥尚孝、 東純哉、荻原俊男、 森下竜二	HGF 遺伝子治療	藤田勝治	医学のあゆみ	医歯薬出版株式会社	東京	2004	653-658
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二	HGF 遺伝子による閉塞性動脈硬化症、パージャージャー病の治療	寺本民生、 岩本愛吉	治療学	ライフサイエンス出版株式会社	東京	2004	91-94
中神啓徳、 森下竜二	遺伝子治療の現状と将来	循環器科編集委員会	循環器科	科学評論社	東京	2004	73-76
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二、 金田安史	肝細胞増殖因子 (HGF) の再生医療応用への展望		バイオインダストリー	株式会社シーエムシー出版	東京	2004	12-19
牧野寛史、 森下竜二、 荻原俊男	遺伝子治療薬		新世代の循環器薬物療法	メジカルビュー社	東京	2004	170-177
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二	遺伝子治療		血管不全フロンティア	メディカルレビュー社	大阪・東京	2004	343-347
青木元邦、 森下竜二、 荻原俊男	末梢性血管疾患に対する遺伝子治療臨床研究		リウマチ病セミナーXV	永井書店	大阪	2004	176-184
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二	遺伝子治療		Heart View	メジカルビュー社	東京	2004	81-85
牧野寛史、 森下竜二、 荻原俊男	遺伝子を利用した血管新生療法	浅田祐士郎、 江頭健輔、 甲斐久史、 古森公浩、 佐田政隆、 室原豊明	心臓ナビゲーター	メディカルレビュー社	大阪・東京	2004	252-253
三和健、 森下竜二	サーモグラフィ、レーザードプラ法		Angiology Frontier	株式会社メディカルレビュー	大阪・東京	2004	21-28
牧野寛史、 荻原俊男、 森下竜二	遺伝子治療による血管新生療法	一戸裕子	実験医学	株式会社羊土社	東京	2004	155-159
青木元邦、 森下竜二、 荻原俊男	心血管疾患の遺伝子治療の進歩		ヒト疾患モデル	真興社	東京	2004	210-216
森下竜二	末梢性血管障害の遺伝子治療	石井 壽晴	脈管学	日本脈管学会	東京	2003	75-80

研究成果の刊行に関する一覧表 (和文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
林真一郎、東純哉、萩原俊男、森下竜二	遺伝子治療、心筋再生		日本臨牀	株式会社日本臨牀社	大阪	2003	867-870
森下竜二	血管再生遺伝子療法の臨床薬理学	景山茂	臨床薬理	日本臨床薬理学会	東京	2003	477
森下竜二	遺伝子治療のトランスレーショナルリサーチ	高嶋彰	最新医学	最新医学社	大阪	2003	79-84
牧野寛史、森下竜二、萩原俊男	遺伝子を利用した血管再生治療	折茂肇、平井俊策、秦葭哉	Geriatric Medicine (老年医学) 12月号	株式会社ライフサイエンス	東京	2003	1759-1764
森下竜二	高齢者医療における再生医療 巻頭言	折茂肇、平井俊策、秦葭哉	Geriatric Medicine (老年医学) 12月号	株式会社ライフサイエンス	東京	2003	1751-1752
谷山義明、森下竜二、萩原俊男	2002年における遺伝子・再生医学研究		Angiology Frontier	メディカルレビュー社	大阪。東京	2003	64-68
牧野寛史、森下竜二、萩原俊男	血管増殖因子による血管新生療法		冠動脈の臨床(上)-21世紀の診断治療体系-	日本臨床	大阪	2003	692-697
森下竜二	再生医療	島田馨	内科学書	中山書店	東京	2003	173-174
谷山義明、森下竜二、萩原俊男	血管再生	松浦三男	総合臨牀	永井書店	大阪	2003	1435-1437
谷山義明	遺伝子治療の from bench to bedside	鯨岡哲	分子心血管病	先端医学社	東京	2003	99-103
牧野寛史、青木元邦、森下竜二、萩原俊男	HGFを用いた抹消血管障害に対する遺伝子治療		Cardioangiology			2003	394-399
橋弥尚孝、森下竜二	血管の形成と障害 HGFと血管新生		Heart View 増刊号	メジカルビュー社	東京	2003	208-211
東純哉、青木元邦、森下竜二、萩原俊男	遺伝子治療による末梢性血管疾患・虚血性心疾患の血管新生医療	島田和幸、池田康夫、尾崎田基男、高井義実、丸山征郎	血管	日本心臓血管作動物質学会事務局	三重	2003	87-94
牧野寛史、青木元邦、萩原俊男、森下竜二	血管新生	吉田富生	Heart View	メジカルビュー社	東京	2003	102-106
牧野寛史、森下竜二、萩原俊男	動脈硬化の遺伝子治療とは?		肥満と糖尿病	丹水社	東京	2003	61-63

研究成果の刊行に関する一覧表（和文書籍）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
橋弥尚孝、 森下竜一、 荻原俊男	心血管疾患の 遺伝子治療	田上龍男	現代医療	現代医療社	東京	2003	143-147
橋弥尚孝、 森下竜一	末梢血管の再 生療法	成人病と生活 習慣病編集委 員会	成人病と生活 習慣病	株式会社東京 医学社	東京	2003	987-991
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	血管新生と心 筋再生		Medicina	株式会社医学 書院	東京	2003	123-125
橋弥尚孝、 森下竜一、 荻原俊男	閉塞性血管障 害の遺伝子治 療	黒川清	BioClinica	北隆館	東京	2003	541-545
橋弥尚孝、 森下竜一、 荻原俊男	HGF 遺伝子 による末梢性 血管疾患の治 療例	折茂肇、 平井俊策、 秦葭哉	Geriatric Medicine	株式会社ライ フサイエンス	東京	2003	1825- 1830
森下竜一	遺伝子治療の 標的疾患	黒川清	Bio Clinica	北隆館	東京	2002	16(576 ) -17 (577)
森下竜一	閉塞性動脈硬 化症を血管新 生により改善 するHGF 遺 伝子治療薬	平田直	Molecular Medicine	株式会社中山 書店	東京	2002	706-710
森下竜一	創薬としての 遺伝子治療	岡部進	日本薬理学雑 誌	社団法人日本 薬理学会	京都	2002	222 - 228
森下竜一	血管新生を使 いこなすに は？		炎症と免疫	先端医学社	東京	2002	41(643)- 42(644)
森下竜一	2. 血管新生 の臨床 4) 心血管疾 患と血管新生	狩野庄吾	日本内科学会 雑誌	社団法人日本 内科学会	東京	2002	116-120
森下竜一	動脈硬化に対 するHGF 遺 伝子治療	顧客サービス 部 河合忠 (監修)	SRL宝函	株式会社エス アールエル・ 八王子ラボ	東京	2002	173-178
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	血管病の遺伝 子治療	和氣健二郎	細胞	ニューサイエ ンス	東京	2002	14-17
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	遺伝子治療に よる血管新生 療法		Medical Practice	文光堂	東京	2002	870-871
牧野寛史、 森下竜一、 荻原俊男	遺伝子を用い た血管新生と 創薬への挑戦		炎症と免疫	先端医学社	東京	2002	74-81
橋弥尚孝、 森下竜一、 荻原俊男	肝細胞増殖因 子	荻原俊男、 島本和明、 日和田邦男、 藤田敏郎	KEY WORD	先端医学社	東京	2002	92-93

研究成果の刊行に関する一覧表（和文書籍）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
居石克夫	血管外膜の役割— 動脈硬化と vasa vasorum	野出孝一	血管不全フロン ティア	メディカ ルレビュー ー社	東京	2004	61-68
居石克夫	動脈硬化と 凝固線溶	平井久丸 押味和夫 坂田洋一	血液の事典	朝倉書店	東京	2004	371- 373
居石克夫	血管新生	山田信博 石橋 俊 代田浩之	高脂血症ナビゲ ーター	メディカ ルレビュー ー社	東京	2003	86-87
橋本修一 古賀孝臣 居石克夫	肺腺癌の 前癌病変	末舛恵一	肺癌の最新医療	先端医療 技術研究 所		2003	26-31
由谷親夫	病理・病態	由谷親夫、 松尾汎	大動脈瘤・大動 脈解離の臨床と 病理	医学書院	東京	2004	9-28
知久正明、 西上和宏、 内藤博昭、 盛 英三、 佐藤英一	画像解析-微小血 管造影- 再生医 療へのブレイクス ルー(その革新技 術と今後の方向 性)		遺伝子医学 MOOK 1			2004	223- 227
國本 聡、 笠原啓史、 福山直人、 田中越郎、 知久正明、 永谷憲歳、 西上和宏、 岩畔英樹、 増田治史、 浅原孝之、 盛 英三	遺伝子による血管 新生		再生医療の実際			2003	116- 123
知久正明、 西上和宏、 佐藤栄一、 盛 英三	放射光および普及 型 X 線源を用い た微小血管造影に よる再生血管の評 価		機能・代謝画像 診断法と分子画 像			2003	177- 186
由谷親夫	心臓血管病理アト ラス		心臓血管病理ア トラス	文光堂	東京	2002	
加藤智啓			内科学 第二版	文光堂	東京	2004	
加藤智啓	シェーグレン症候 群への Strategy No. 5			先端医学 社	東京	2004	
加藤智啓	プロテオミクスと 自己免疫疾患研究 の進歩		リウマチ科			印刷中	
加藤智啓	遺伝子医学 MOOK 【プロテオミクス で疾患を治せる か】			メディカ ル ドゥ社	大阪	印刷中	



研究成果の刊行に関する一覧表（和文書籍）

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
増子佳世、 加藤智啓	変形性関節症成因 への新しい展開		カレントセラピー			2003	299- 302
加藤智啓	樹上細胞		内科キーワード			2003	1264- 1265
黒川真奈絵、 加藤智啓	抑制性T細胞		内科キーワード			2003	1266
増子佳世、 加藤智啓	Th1/Th2		内科キーワード			2003	1267
加藤智啓、 田中栄、 竹内勤、 山本一彦	Arthritis-関節炎		運動器疾患と炎症			2003	35-47
松井利浩、 加藤智啓	IgG-FcR+ T細胞百分率。検査値から読む病態と診断計画。		臨床医 28 (別冊)			2002	1176- 1177
川合眞一、 加藤智啓、 松田隆秀	慢性関節リウマチの薬効評価法としてのQOL測定の臨床的意義		臨床薬理の進歩 2002 (別冊)			2002	47-51
土屋尚之	免疫疾患の疾患感受性遺伝子	山本一彦	シミュレーション内科「リウマチ・アレルギー疾患を探る」	永井書店	大阪	印刷中	

研究成果の刊行に関する一覧表 (英文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
<u>Kobayashi S.</u> Tamura N, Ikeda M, Haruta K, Zhong B, Akimoto T, et al.	Poststreptococcal reactive arthritis and tonsillitis induced reactive arthritis. Current topics on tonsillitis and mucosal barriers of upper airways.	Yamanaka N, Kuki K, Fujihara K, Tamura S, Hotomi M eds.	Proceedings of the 5thInternational Symposium on Tonsillitis and Mucosal Barries of Upper Airways held in Wakayama between 9-11, April 2003.	Elvier 2003 International congress series.1257.		2003	151-154
<u>Kobayashi S.</u> Tamura N, Ikeda M, Haruta K, Tanaka M, Kawano T, et al.	Anterior uveitis and poststreptococcal reactive arthritis. Current topics on tonsillitis and mucosal barriers of upper airways.	Yamanaka N, Kuki K, Fujihara K, Tamura S, Hotomi M eds.	Proceedings of the 5thInternational Symposium on Tonsillitis and Mucosal Barries of Upper Airways held in Wakayama between 9-11, April 2003.	Elvier 2003 International congress series.1257.		2003	231-234
Shigeyuki Sasaki, Makoto Sakuma, <u>Keishu Yasuda</u>	Chapter4 AbdominalAortic Aneurysm 11.Inflammatory Abdominal Aortic Aneurysms.	Keishu Yausda	Hokkaido University Medical Library Series	Hokkaido University	Sapporo	2003	163-175
Shigeyuki Sasaki, <u>Keishu Yasuda</u>	Surgical Management of Vasculitis Syndrome 12.Takayasu's Arteritis. Advances in Vascular Surgery	Keishu Yausda	Hokkaido University Medical Library Series	Hokkaido University	Sapporo	2003	179-194
Shigeyuki Sasaki, <u>Keishu Yasuda</u>	Surgical Management of Vasculitis Syndrome 13.Buerger's Disease (Thromboangiitis Obliterans; TAO) Advances in Vascular Surgery	Keishu Yausda	Hokkaido University Medical Library Series	Hokkaido University	Sapporo	2003	195-201
Shigeyuki Sasaki, Makoto Sakuma, <u>Keishu Yasuda</u>	Surgical Management of Vasculitis Syndrome 14. Vasculo-Behct's Disease. Advances in Vascular Surgery	Keishu Yausda	Hokkaido University Medical Library Series	Hokkaido University	Sapporo	2003	203-213

研究成果の刊行に関する一覧表 (英文書籍)

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
Morishita R, Aoki M, Hashiya N, Yamasaki K, Kurunami H, Shimizu S, Makino H, Takesya Y, Azuma J, Ogihara T.	Therapeutic angiogenesis using hepatocyte growth factor (HGF).	Ignacio Anegon	Current Gene Therapy.	Bentham Science Publishers LTD.	USA (CA)	2004	199-206.
Morishita R, Aoki M, Yo Y, Ogihara T.	Hepatocyte growth factor as cardiovascular hormone: role of HGF in the pathogenesis of cardiovascular disease.	Hajime Nawata	Endocrine Journal.	The Japan Endocrine Society		2002	273-284.
Yoshiki T.	Molecular Pathology of Human Retroviruses, HTLV-I and Endogenous Retroviruses		Hokkaido University Medical Library Series Vol.47	Kokoku Printing Co. Ltd.	Sapporo	2004	
Yoshiki T.	Progress in Cancer Pathobiology and Transplantation Immunobiology		Hokkaido University Medical Library Series Vol.48	Kokoku Printing Co. Ltd.	Sapporo	2004	
Yoshiki T.	Pathogenesis of HAM/TSP in a rat model	Sugamura K, Uchiyama T, Matsuoka M, Kannagi M.	Gann Monograph on Cancer Research 50 "Two decades of adult T-cell leukemia and HTLV-I research	Japan Scientific Societies Press	Tokyo	2003	183-196

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kawabata D., Tanaka M., Fujita T., Umehara H., Fujita Y., Yoshifuji H., Mimori T. and Ozaki S.	Ameliorative effects of follistatin-related protein/TSC-36 on joint inflammation in a mouse model of arthritis.	Arthritis Rheum	50 (2)	660-668	2004
Kumagai S., Kumada F., Kita T., Morinobu A., Ozaki S., Ishida H., Sano H., Matsubara T and Okumura K.	N-Acetyltransferase 2 genotype-related efficacy of sulfasalazine In patients with rheumatoid arthritis.	Pharmaceutical Research	21(2)	324-329	2004
Ito I., Mitsuoka N., Sobajima J., Uesugi H., Ozaki S., Ohya K. and Yoshida M.	Conformational Difference in HMGB1 Proteins of Human Neutrophils and Lymphocytes Revealed by Epitope Mapping of a Monoclonal Antibody.	J. Biochem	136	155-162	2004
Watanabe T., Kubota S., Nagaya M., Ozaki S., Nagafuchi H., Akashi K., Taira Y., Tukikawa S., Oowada S. and Nakano S.	The role of HMGB-1 on the development of necrosis during hepatic ischemia and hepatic ischemia/reperfusion unjury in mice.	J. Surg. Res	124	59-66	2005
Akaogi J., Akasaka N., Yamada H., Hama N., Satoh M., Nichols C. and Ozaki S.:	Intravenous cyclophosphamide therapy in a case with refractory thrombotic microangiopathic hemolytic anemia and SLE.	Clin. Rheumatol			(in press)
Ito G., Ozaki S., Nakagawa M. and Suzuki Y.	Vascular endothelial growth factor plays a key role in osteoclastic bone destruction by cultured rheumatoid synovium.	臨床リウマチ	16	11-19	2004
岡寛、中野弘雅、木俣敬仁、松田隆秀、尾崎承一	シエンダーレン症候群の口腔乾燥症状に対するレバミピドの有用性	Progress In Medicine	24(10)	2591-2596	2004
岡寛、木俣敬仁、中野弘雅、清水篤、山本直弘、尾崎承一	関節リウマチの膝関節滑膜炎に対する高分子ヒアルロン酸ナトリウム (スベニール) の効果	Journal of Joint Surgery	23(12)	118-124	2004
岡寛、木俣敬仁、中野弘雅、清水篤、山本直弘、尾崎承一、尾崎承二	関節リウマチの膝関節滑膜炎に対する高分子ヒアルロン酸ナトリウム (スベニール) の効果 血管炎の分子メカニズム	Journal of Joint Surgery	23(12)	118-124	2004
岡寛、尾崎承二	血管炎症候群	Molecular Medicine	41(2)	191-198	2004
尾崎承二	血管炎症候群。一診断のポイントとベストの治療ガイドライン	診断と治療 内科	92(2) 93 (2)	289-293 265-271	2004 2004

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
尾崎承二、住田孝之、山本一彦	関節リウマチの現状と将来展望	現代医療	36 (3)	610-629	2004
尾崎承二	Autoantibodies against cardiac troponin I are responsible for dilated cardiomyopathy in PD-1-deficient mice.	分子リウマチ	1 (2)	153	2004
尾崎承二	血管炎症候群	内科疾患診療マニユアル			(in press)
尾崎承二	寒くなる指先が白くなりしびれる	クリニックQ&A			2004
尾崎承二	スペンチャリストに聞く血管炎の話	デルマ倶楽部			2004
木俣敬仁、岡寛、山本直弘、尾崎承二	発熱・紅斑の再燃症状にミノリピン (ブレディニン) が有効であったSLEの2例	臨床リウマチ	16 (2)	167-172	2004
Tanaka M., Ozaki S., Kawabata D., Kishimura M., Osakada F., Okubo M., Murakami M., Nakao K. and Mimori T.	Potential preventive effects of follistatin-related protein /TSC-36 on joint destruction and antagonistic modulation of its autoantibodies in rheumatoid arthritis.	Int. Immunol	15(1)	71-77	2003
Matsuno H., Yudoh K., Hanyu T., Kano S., Komatsubara Y., Matsubara T., Murata N., Nakai H., Nakamura H., Ozaki S., Shimizu M., Shiozawa S., Takasugi K and Goto M.	Quantitative assessment of hand radiographs of rheumatoid arthritis: interobserver variation in a multicenter radiographic study.	J Orthop Sci.	8	467-473	2003
Nakano H., Oka H., Matsuda T., Ooka S., Suzuki N., Hayashi J., Ishida S., Suzuki T., Hirota K. and Ozaki S.	Spontaneous platelet aggregation in patients with Behcets disease by using laser-light scattering aggregometer.	Adamantiades-Behcets disease	528	437-441	2003
中野弘雅、岡寛、大久保道子、伊藤彦、尾崎承二、松田隆秀、大岡正道	Remitting seronegative symmetrical synovitis with pitting edema (RS,PE) と Polymyalgia rheumatica (PMR) の鑑別について—自験例RS,PE 3例・PMR 15例における比較検討—	臨床リウマチ	15 (1)	19-25	2003
伊藤彦、鈴木康夫、上原立子、井手美香子、尾崎承二	高用量エチドロン酸が関節周囲の石灰沈着に対して有効であった塩基性リン酸カルシウム (BCP) 結晶沈着症の1例	リウマチ	43 (4)	644-648	2003
唐澤里江、尾崎承二	ANCA関連血管炎のモデル動物	リウマチ科	29 (3)	222-227	2003
岡寛、尾崎承二	炎症性筋疾患	Current Therapy	21(3):	34-37	2003

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
尾崎承一	P-ANCAとC-ANCA	内科診療Q&A	36	1072-1073	2003
岡寛、鈴木健、尾崎承二、千川昌弘	関節リウマチに伴う血管炎症状にステロイド薬は有効か、 乾燥性関節炎の手の単純X線像	EBMジャーナル 内科	4 (5) 92 (2)	74-79 373	2003 2003
中野弘雅、岡寛、山田秀裕、尾崎承一、松田隆秀	Drug-induced neutropenia associated with anti-neutrophil cytoplasmic antibodies (ANCA) : possible involvement of complement in granulocyte toxicity.	Clin Exp Immunol	127	92-98	2002
Akamizu T., Ozaki S., Hiratani H., Uesugi H., Sobagima J., Hataya Y., Kanamoto N., Saijo M., Hattori Y., Moriyama K., Ohmori K and Nakao K.	Leptin inhibits stress-induced apoptosis of T lymphocytes. Clin Exp Immunol	Clin Exp Immunol	128	21-26	2002
Fujita Y., Murakami M., Ogawa Y., Masuzaki H., Tanaka M., Ozaki S., Nakao K and Mimori T.	Autoantibodies to the transcriptional factor SOX13 in primary biliary cirrhosis compared with other diseases.	J. Autoimmun	19	251-257	2002
中野弘雅、岡寛、尾崎承二、松田隆秀、大岡正道、鈴木典子	ベーチェット病におけるレーザー散乱光法を用いた血小板自然凝集能の検討	臨床リウマチ	14	205-210	2002
中野弘雅、岡寛、松田隆秀、大岡正道、大久保道子、尾崎承一	金チオリソゴ酸ナトリウム (シオゾール®) による関節性肺炎	リウマチ科	28 (6)	596-597	2002
大矢直子、尾崎承二	ループス腎炎およびMPO-ANCA関連腎炎	総合臨床	51 (7)	2176-2181	2002
山本直弘、尾崎承一	混合性結合組織病	臨床医増刊号	28	1556-1558	2002
池内俊三、尾崎承二	側頭動脈炎	リウマチ科	27 (Suppl. 1)	713-717	2002
八田和夫、尾崎承二	高安静脈炎	リウマチ科	27 (Suppl. 1)	705-712	2002
山田秀裕、浜信昭、吉田智彦、尾崎承二	SLE患者の妊娠、出産におけるリスクをどう回避するか、	E B M	3(6)	63-68	2002
鈴木康夫、田中千絵、尾崎承二、堀田知光	メトトレキサート (MTX) により誘発されるリンパ増殖性疾患	リウマチ科	28 (5)	498-506	2002

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Kimura Y, Matsuzawa S, Arimura Y, Soejima A, Nakabayashi K, Yamada A.	Azurocidin-specific ANCA related idiopathic necrotizing crescentic glomerulonephritis	Am J Kidney Dis	43	7~10	2004
Kuroda T, Yoshida Y, Kamiie J, Kovalenko P, Nameta M, Fujinaka H, Yaoita E, Endo T, Ishizuka S, Nakabayashi K, Yamada A, Nagasawa T, Yamamoto T	Expression of MMP-9 in mesangial cells and its changes in anti-GBM glomerulonephritis in WKY rats	Clin Exp Nephrol	8	206~215	2004
長田道夫、槇野博史、秋草文四郎、今井裕一、北村博史、重松秀一、杉崎徹三、城謙輔、田口尚、中野正明、中林公正、横山仁、山口裕	ループス腎炎病理診断の新しい分類—INS/RPS 2003年改訂分類の要点と診断マニュアル—	日腎誌	46	383-395	2004
福岡利仁、中林公正	特集 ネフローゼ症候群. 原因病態別考察: 膠原病、血管炎	日本臨床	62	1898-1906	2004
吉原 堅、宝亀恵美子、中林公正	血管炎をきたす疾患の鑑別診断と治療 肉芽腫性血管炎をみる疾患	リウマチ科	31	458-467	2004
福岡利仁、中林公正	Goodpasture症候群腎臓ナビゲーター (浦 信行、柏原直樹、能谷裕生、竹内和久編)	メデイカルレビュー社		152-153	2004
中林公正、本田恒雄	結節性多発動脈炎、インフォームドコンセントのため の図説シリーズ その他の膠原病 (竹原和彦、近藤啓文編)	医薬ジャーナル社		68-73	2004
福岡利仁、中林公正	抗リン脂質抗体症候群	臨床と研究	81	265-270	2004
関内真紀穂、中林公正、丸茂朋史、有村義宏、山田 明	血球貧血症候群と発症した関節リウマチの1例	リウマチ	42	696-702	2003
中林公正	ループス腎炎と免疫抑制療法	Nephrology Frontier	2	83-90	2003
中林公正	ANCA関連血管炎の予後 (特集ANCA関連血管炎)	リウマチ科	29	255-260	2003
中林公正、土岐岳士	ANCA 関連血管炎の臨床像	医学のあゆみ	206	130-132	2003
藤井裕子、有村義宏、高橋直子、土岐岳士、丸茂朋史、吉原 堅、中林公正、山田 明	コルヒチンとシクロスポリンの併用療法中にニューロミオパシーを呈したバネーチエット病の1症例	リウマチ	43	44-50	2003

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Nakabayashi K, Arimura Y, Yamada A, Nakabayashi K	Five distinct clinical subsets and their prognostic implications in MPO-ANCA associated vasculitis	Cleveland Clinic J Med	69	173	2002
Nakabayashi K	Slowly progressive, not rapidly progressive, MPO-ANCA positive glomerulonephritis and its characteristics (editorial)	Intern Med	41	418-419	2002
Kobayashi S, Yano T, Ebisuka T, Yoshida M, Nakabayashi K, Matsumoto Y, Hashimoto H	Recent clinico-epidemiological manifestations of primary vasculitides	Intern Med	41	49-51	2002
軽部美穂、金田史香、中林公正、山田 明、長澤俊彦	腸管囊腫様気腫を合併した皮膚筋炎と強皮症の overlap 症候群の 1 例	日内会誌	91	3278-3281	2002
神谷康司、藤井亜砂美、中林公正	大動脈症候群の治療の進め方—内科的治療—	Heart View	6	104-108	2002
中林公正、神谷康司、有村義宏、速藤哲也	MPO・ANCA 関連血管炎の臨床及び病理組織像の特徴について	基礎研究 (A) 血管炎症候群の分子メカニズムの解析と新たな病理形態学的基盤の確立、平成13年度研究成果報告書		20-26	2002
小林茂人、木田一成	薬剤性腎障害	リウマチ科	31	272-277	2004
小林茂人、木田一成	大動脈炎をきたす疾患	リウマチ科	31	452-457	2004
多田久里守、小林茂人	非ステロイド抗炎症薬	リウマチ科	31	7-10	2004
小林茂人	リウマチ医の役割と家庭医・かかりつけ医との連携	クリニカル プラクティス		828-831	2005
石塚修悟、小林茂人	炎症マーカー：関節リウマチ	日本臨床	63	306-309	2005
石塚修悟、小林茂人	IgM-RF. 関節リウマチ	日本臨床	63	318-321	2005
Akimoto T, Kobayashi S, Tamura N, Ohsawa T, Kawano T, Tanaka M, Hashimoto H.	Risk factors for recurrent thrombosis: prospective study of a cohort of Japanese systemic lupus erythematosus (SLE).	Angiology			in press
Zhong B, Kobayashi S, Ikeda M, Akimoto T, Haruta K, Tamura N, Asakawa J, Tsuda H, Tanaka M, Kawano T, Hashimoto H.	Clinical manifestations of patients with rheumatoid arthritis associated with vasculitis and/or extra-articular lesions, ?malignant rheumatoid arthritis? in Japan.				in preparation



研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Zhong B, Kobayashi S, Ikeda M, Akimoto T, Haruta K, Tamura N, Asakawa J, Tsuda H, Tanaka M, Kawano T, Hashimoto H.	Inhibitory effect of Mizoribine on matrix metalloproteinase-1 and matrix metalloproteinase-3 production by production by synovial fibroblasts and THP-1	Mod Rheumatol			in press
Kobayashi S, Kida I.	Reactive arthritis. Recent advance and clinical manifestations.	Internal Medicine			in Press
小林茂人	リウマチ医の役割と家庭医・かかりつけ医との連携	クリニカル プラクティス		828-831	2005
石塚修悟、小林茂人	炎症マーカー：関節リウマチ	日本臨床	63	306-309	2005
石塚修悟、小林茂人	IgM-RF. 関節リウマチ	日本臨床	63	318-321	2005
小林茂人、木田一成	薬剤性腎障害	リウマチ科	31	272-277	2004
小林茂人、木田一成	大動脈炎をきたす疾患	リウマチ科	31	452-457	2004
多田久里守、小林茂人	非ステロイド抗炎症薬	リウマチ科	31	7-10	2004
Kobayashi S, Ishizuka S, Tamura N, Takaya M, Kaneda K, Hashimoto H.	Churg-Strauss syndrome (CSS) in a patient receiving pranlukast.	Clin Rheumatol	22	491-2	2003
Bando H, Kobayashi S, Matsumoto T, Tamura N, Yamanaka K, Yamaji C, Takasaki C, Takasaki Y, Hashimoto H.	Acute acalculous cholecystitis induced by mesenteric inflammatory veno-occlusive disease (MIVOD) in systemic lupus erythematosus.	Clin Rheumatol.	22	447-9	2003
Kobayashi S, Yano T, Inaba Y, Hashimoto H, Matsumoto Y, Tamakoshi A, Kawamura T, Ohno Y.	Ocular involvement of Japanese patients with giant cell arteritis from the first nation-wide survey.	Arthritis Rheum (Letter)	49	867-868	2003
Kobayashi S, Yano T, Matsumoto Y, Numano F, Nakajima N, Yasuda K, Yutani C, Nakayama T, Tamakoshi A, Kawamura T, Ohno Y, Inaba Y, Hashimoto H.	Clinical and epidemiologic analysis of giant cell (temporal) arteritis from a nationwide survey in 1998 in Japan the first government-supported nationwide survey.	Arthritis Rheum	49	594-8	2003
Kobayashi S, Tamura N, Ikeda M, Sakuraba K, Matsumoto T, Hashimoto H.	Uveitis in adult patients with poststreptococcal reactive arthritis: the first two cases reported associated with uveitis.	Clin Rheumatol	21	533-5	2003

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Tsuchiya N, Kobayashi S, Kawasaki A, Kyougoku C, Arimura Y, Yoshia m, Tokunaga K, Hashimoto H.	Genetic background of Japanese patients with antineutrophil cytoplasmic antibody-associated ascuitis: association of HLA-DRB1*0901 with microscopic polyangiitis.	J Rheumatol	30	1534-40	2003
Takaya M, Tamura N, Kato K, Kobayashi S, Haruta K, Tajima M, Hara M, Yang K-S, Tsuda H, Hashimoto H.	CD154 expression and mRNA stability of activated CD4-positive T cells in patients with systemic lupus erythematosus. Mod Rheumatol 2003;13:220-236.	Mod Rheumatol	13	44-49	2003
小林茂人	12. Bando H, Tamura N, Kobayashi S, Hara MO, Ichimura Y, Tajima M, Haruta K, Hashimoto H. Endothelial cell-binding antibodies in patients with systemic lupus erythematosus	リウマチ科	30	154-157	2003
小林茂人	ロイコトルエン・レセプター拮抗剤とチャグ・ス トラウラス症候群	小児科	44	602-603	2003
田村直人、小林茂人、井上 久	ANCA関連血管炎.最近の話題の用語 強直性脊椎炎の診断と治療	リウマチ科	29	164-168	2003
Kobayashi S, Yano T, Ebisuka T, Yoshioda M, Nakabayashi K, Matsumoto Y, Hashimoto H.	Recent clinico-epidemiological manifestations of primary vasculitides.	Intern Med	41	49-51	2002
Tamura N, Kobayashi S, Hashimoto H.	Anticardiolipin antibodies in post-streptococcal reactive arthritis.	Ann Rheumatic Dis	61	374	2002
Kobayashi S, Tamura N, Ichikawa G, Hashimoto H.	Reactive arthritis induced by tonsillar Chlamydia trachomatis and Streptococcal infection.	Clin Exp Rheumatol	20	732	2002
Haruta K, Kobayashi S, Tajima M, Yui R, Tamura N, Nagaoka I, Hashimoto H.	Lysenin, a sphingomyelin-binding protein: its role in the activation of platelets.	Biomed Research	23	153-159	2002
Asakawa J, Torikoe Y, Kondo I, Yasuda M, Kobayashi S, Hashimoto H.	Reactive arthritis after pharyngeal infection: report of two siblings.	Mod Rheumatol	12	182-185	2002
Tokano Y, Ogasawara H, Ando S, Fujii T, Kaneko H, Tamura N, Hirokawa K, (Kobayashi S).	Cyclosporin A therapy for interstitial pneumonitis associated with rheumatic diseases.	Mod Rheumatol	12	305-310	2002

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
小林茂人	多発関節炎をきたす疾患	日医新報	4103	92-94	2002
小林茂人、田村直人	成人Still病. 実践診断指	日医雑誌	128	s264-265	2002
田村直人、小林茂人	強直性脊椎炎. 実践診断指	日医雑誌	128	s266-267	2002
小林茂人、田村直人、池田 真	反応性関節炎—新しく提唱された疾患概念、分類基準とその問題点	リウマチ科	27	565-570	2002
小林茂人、金井美紀	抗リウマチの併用療法	日臨床	60	2351-2356	2002
李 鍾碩、小林茂人	慢性関節リウマチの診断と鑑別診断, リウマチ科診療マニュアル	リウマチ科	27	556-561	2002
藤井猛士、小林茂人	血管炎症候群の治療	内科	89	283-293	2002
秋元智博、小林茂人、橋本博史	大動脈炎症候群の治療の進め方、生活指導	Heart View	16	100-103	2002
田伏洋子、小林茂人、津田裕士	リウマトイド因子—どの検査法を選ぶか—	Medical Practice	19	1135-1139	2002
小林茂人、井上 久	血清反応陰性関節炎	Rheumatology Update	9	18-20	2002
浅川順一、小林茂人	関節リウマチ: エキスパートによる治療戦略	今日の治療	10	98	2002
小林茂人	多発性関節炎をきたす疾患	日醫新	4103	92-94	2002
小林茂人、金井美紀	抗リウマチ薬の併用療法. 薬物療法に関する最近の進歩	日本臨床	60	2351-2356	2002
Takeuchi T, Tsuzaka K, Abe T.	Altered expression of the T cell receptor-CD3 complex in systemic lupus erythematosus.	Int Rev Immunol	23	273-291	2004
Tsuzaka K, Setoyama Y, Yoshimoto K, Shiraishi K, Suzuki K, Abe T, Takeuchi.	A splice variant of the TCR $\zeta$ mRNA lacking exon 7 leads to the down-regulation of TCR $\zeta$ , the TCR/CD3 complex, and IL-2 production in SLE T cells.	J Immunol	(in press)		2005
津坂憲政、竹内勤	SLE発症前の自己抗体	内科	93	972-973	2004
津坂憲政	SLE患者に認められるTCR $\zeta$ 鎖スプライス・ヴァリアントの役割	分子リウマチ	3	183-191	2004
津坂憲政	全身性エリテマトーデス患者T細胞におけるTCR $\zeta$ 鎖mRNAスプライス異常	最新医学	59	2165-2178	2004

研究成果の刊行に関する一覧表 (雑誌)

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
津坂靈政	SLE T細胞の早期シグナル伝達異常	臨床免疫	42	427-434	2004
Tsubota K, Fujita H, Tsuzaka K, Takeuchi T	Quantitative analysis of lacrimal gland function, apoptotic figures, Fas and Fas ligand expression of lacrimal glands in dry eye patients.	Exp Eye Res	76	233-240	2003
Tsuzaka K, Fukuhara I, Setoyama Y, Yoshimoto K, Suzuki K, Abe T, Takeuchi T	TCR $\zeta$ mRNA with an alternatively spliced 3' untranslated region detected in SLE patients leads to the downregulation of TCR $\zeta$ and TCR/CD3 complex.	J Immunol	171	2496-2503	2003
津坂靈政	全身性エリテマトーデス患者T細胞におけるTCR $\zeta$ 鎖発現低下	日本臨床免疫学会誌	26	43-53	2003
津坂靈政, 竹内勤	血管炎症候群に伴う間質性肺炎	治療	85	1925-1928	2003
津坂靈政	T細胞シグナル伝達の異常と自己免疫疾患	炎症と免疫	11	101-108	2003
Tsuzaka K, Onoda N, Yoshimoto K, Setoyama Y, Suzuki K, Pang M, Abe T, Takeuchi T	T-cell receptor $\zeta$ mRNA with alternatively spliced 3' untranslated region is generated predominantly in the peripheral blood T cells of systemic lupus erythematosus patients.	Mod Rheumatol	12	167-173	2002
Pang M, Setoyama Y, Tsuzaka K, Yoshimoto K, Amano K, Abe T, Takeuchi T	Defective expression and tyrosine phosphorylation of the T cell receptor $\zeta$ chain in peripheral blood T cells from systemic lupus erythematosus patients	Clin Exp Immunol	129	160-168	2002
Tsubota K, Fujita H, Tadano K, Onoda N, Tsuzaka K, Takeuchi T	Abnormal expression and function of Fas ligand of lacrimal glands and peripheral blood in Sjögren's syndrome patients with enlarged exocrine glands.	Clin Exp Immunol	129	177-182	2002
鈴木勝也, 津坂靈政, 竹内勤	T細胞レセプターシグナル伝達とその制御機構	炎症と免疫	10	322-326	2002
津坂靈政, 竹内勤	血管炎の病態と治療	日本医事新報	4079	1-5	2002
津坂靈政, 竹内勤	検査値から読む病態と診断計画、抗DNA抗体	臨床医	28(増刊号)	1147-1148	2002
Yoshimasu T. et al	Susceptibility of TCR $\alpha$ chain knockout mice to ultraviolet B light and flucouracil : a novel model for drug-induced cutaneous lupus erythematosus.	Clin Exp Immunol	136	245-254	2004